

# 上部（胃・十二指腸）内視鏡検査を受ける際の注意事項

内視鏡検査は、鼻もしくは口から管を挿入し、食道・胃・十二指腸を直接観察します。

必要に応じて生検（組織を一部採取すること）を行います。所要時間は約5～15分となります。鼻から挿入する場合、鼻の形によっては施行できないことがあります。（その場合は口からの検査となります）

## 検査の2週間前から

### ● 血を固まりにくくする薬（抗凝固剤・抗血小板剤）を服用されている方

→ 当院処方のお薬でない場合は、処方された先生とご相談の上、可能であれば中止して下さい。

※中止できていないとポリープ切除や生検ができない場合があります。

### ● 胃薬、抗生物質、抗菌薬、ヨーグルトは中止

→ ピロリ菌検査の正確な判断ができないため。

## 前日

● **食事**：夕食は消化の良いものを21時までに済ませ、その後は絶食として下さい。

● **水分**：摂取可能。

## 当日

● **食事**：検査まで絶食。牛乳、果汁を避けて透明の水分は摂取可能（お茶・水・スポーツドリンクのみ）。

禁煙。午後の検査の場合：朝7時までに軽く摂取可能。その後、絶食。

### ● 現在服用中の薬の朝の内服について

中止する薬

糖尿病の薬やインスリン（絶食中のため）

必ず内服する薬：朝6時～7時に

心臓、血圧、前立腺、抗けいれん薬、精神安定剤など

※ 現在服用中の全てのお薬の内容が記載されたもの（お薬手帳など）を当日持参して下さい。

### ● 検査時の注射（鎮静剤使用）

検査後、30分ほど休んでいただきます。（当日、鎮静剤のご希望を確認させていただきます）

● **来院方法**：自動車やバイク、自転車を運転してお越しになることは避けてください。

※ 予約変更、キャンセルされる場合は診療時間内に下記へご連絡下さい。

# 上部消化管内視鏡検査 同意書

内視鏡検査の危険性としては次のようなことが報告されています。

- 1) 検査全体として0.007% (100万人に70人) : 内訳は穿孔 (胃や腸に穴があくこと) 0.0018% (100万人に18人)。出血0.0015% (100万人に15人)。死亡0.00045% (100万人に5人)。
- 2) 経鼻内視鏡の場合に問題となる合併症は鼻出血です。鼻出血は約34%で起こるといわれています。更に少ないですが、止血処置が必要になることもあります。
- 3) 検査前に使う麻酔や前処置によるもの0.0014% (100万人に14人)。薬でショックをおこすことがごく稀にあります。アレルギーのある方はお知らせください。
- 4) 色素撒布 : 胸焼けなど刺激症状、アレルギー
- 5) 検査前にあった基礎疾患の悪化

これらの偶発症は、最善の手技をつくしても完全に防止することはできません。偶発症の可能性、検査の必要性を検査前に充分理解していただくことが大切です。

以上の説明で上部消化管内視鏡検査に同意される方は、同意書にご署名下さい。

なお、検査予約日の変更や疑問点などがありましたら下記までご連絡下さい。

## 上部消化管内視鏡検査の同意書

私は、上部消化管内視鏡検査について、医師より説明を受け、検査の目的、必要性、方法及び危険性を十分理解しましたので、その実施について同意いたします。又、検査中に緊急または予測外の処置をする必要性が生じた場合に適宜処置される事についても同意します。

平成 年 月 日

本人のご署名 \_\_\_\_\_ 印

家族または代理の方のご署名 \_\_\_\_\_ 印

\*捺印は、署名が直筆であれば省略できます。



赤松内科クリニック

akamatsu clinic

TEL : 06-6627-9906 FAX : 06-6627-9916

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目4-8